

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名：一般国道18号 坂城更埴バイパス（坂城町区間）	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：長野県埴科郡坂城町南条 至：長野県埴科郡坂城町上五明	延長：3.8km	
事業概要 一般国道18号は、群馬県高崎市を起点とし、長野県上田市、長野市を経て新潟県上越市に至る延長約194kmの主要幹線道路である。坂城更埴バイパス（坂城町区間）は、一般国道18号および周辺道路における交通混雑緩和を目的に計画された事業である。		
H23年度事業化	S60年度都市計画決定	H25年度用地着手
全体事業費	約110億円	事業進捗率：5.5% 供用済延長：0km
計画交通量	16,100～21,800台/日	
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.5 (残事業) 2.7 総費用：(残事業)/(事業全体) 88/94億円 事業費：76/82億円 維持管理費：12/12億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 233/233億円 走行時間短縮便益：203/203億円 走行費用減少便益：20/20億円 交通事故減少便益：11/11億円 基準年：平成27年
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C= 2.1～3.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 2.3～2.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 2.3～2.7（事業期間± 2年） 【残事業】交通量：B/C= 2.2～3.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 2.4～2.9（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 2.4～2.9（事業期間± 2年）		
事業の効果等 ①国道18号現道の渋滞状況 ・国道18号現道の損失時間は、坂城更埴バイパス（坂城町区間）と並行する区間で65.8千人時間/年・km。 ・並行する国道18号現道内には、主要渋滞箇所を選定されている交差点が存在している状況。 ・坂城更埴バイパス（坂城町区間）の整備により、現道の交通の転換が図られ、国道18号現道の渋滞緩和が見込まれる。		
関係する地方公共団体等の意見 長野県知事の意見：一般国道18号「坂城更埴バイパス（坂城町区間）」は、交通渋滞の緩和や交通事故の減少、救急医療施設へのアクセス向上に寄与する必要不可欠な事業です。ついては、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。		
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ー		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成25年度より用地着手し、用地取得率は約1%（平成27年3月末時点）。今後も用地取得の促進を図り、早期完成を目指す。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も用地取得の促進を図り、早期完成を目指し、事業の推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に取り組む。		
対応方針：事業継続		
対応方針決定の理由 以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。		

